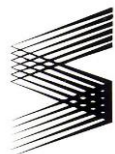


令和3年度

学校だより
令和3年9月30日



さつきが丘 10月号

第341号

秋といえば「読書の秋」

副校長 安村 宏晃

「リンリーン」「チリチリチリ」と先日、夜の道を歩いているときに秋の虫の声が聞こえてきました。季節が移り変わっているなど感じたひとときでした。

「秋といえば」と問われると「読書の秋」「実りの秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」「秋の夜長」などいろいろな言葉が思い浮かびます。

先日、近代文学館で行われている「佐藤さとる展」を見てきました。生い立ちや様々な作品に込めた思いなどに触れることができました。そして、私が初めて佐藤さとるさんの作品に出会った小学校4年生ときのことを思い出しました。

木造2階建ての校舎、暖房はコークスを燃やすだるまストーブ、二人がけの木の机と木の椅子、教室の中には40人の仲間。そんな情景とともに当時の担任の先生が「誰も知らない小さな国」というコロボックルの話を朝の教室で読んでくれたのが最初の出会いでした。このお話はとても不思議に感じて、毎日少しずつしかすすまない話の先が知りたくなりました。母親にねだって同じ本を買ってもらって読んだことはよい思い出です。

新しい本との出会いも秋の楽しみの一つです。また、スポーツを楽しんだり、近所の公園や林など葉の色づきを楽しんだり、旬の食材を味わったりと感染症予防の工夫をしながら、いろいろな楽しみ方で「秋」を満喫できれば素敵だなと思います。

感染症の影響で夏休みから8月末まで臨時休業となりました。9月に登校を再開してからは、クラスを2つに分けての分散登校と学年別の時差登校が続いています。分散登校の間は、少ない人数での授業や家庭にいても学習に向かえるプリントなど、対面での学習と家庭での学習を行っています。保護者の皆様には、ロイロノートでの日々の健康観察にご協力をいただきありがとうございます。

10月も皆様の変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

